

歯科を受診される際は、

**抗血栓薬を服用していること**を

かかりつけ歯科医に**必ずお伝えください。**

抗血栓薬を服用していると、歯科治療（歯周病治療・抜歯等）の後、出血が続き血が止まりにくいことがあります。

そのような時に適切に対処し、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、主治医とかかりつけ歯科医が連携を取りながら歯科治療をすすめる必要があります。

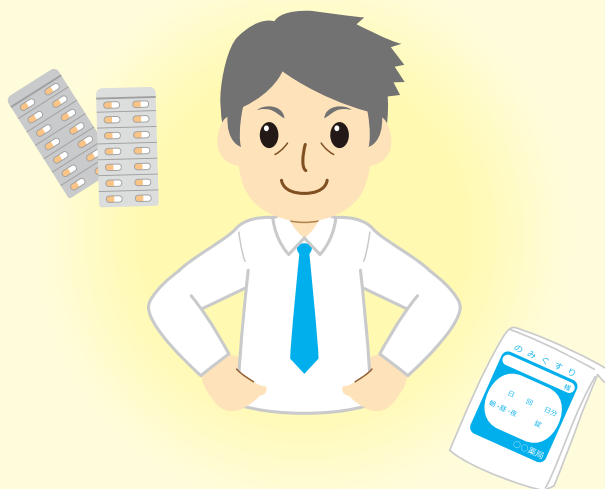
### かかりつけ歯科医に伝えること

- ◎ 服用中の抗血栓薬の名前
- ◎ 医院名と主治医の名前

他にも服用中の薬や治療中の病気があれば全て伝えましょう。お薬手帳を活用しましょう。



不明な点は、  
医師・歯科医師・薬剤師に  
ご相談ください。



### お問い合わせ先

Blank area for contact information.

**歯科治療**を受けられる

**血栓を予防する目的で  
血液をサラサラにする**

**薬（抗血栓薬）を  
服用している患者さんへ**



**医師 歯科医師 薬剤師**が  
連携して患者さんをサポート

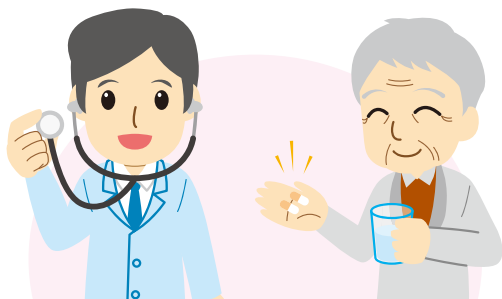
三重県・三重県医師会  
三重県歯科医師会・三重県薬剤師会

## 抗血栓療法とは？

心房細動や脳梗塞などが疑われる患者さんには、血栓を予防する目的で血液をサラサラにする薬(抗血栓薬)が処方されることがあり、抗血栓療法と呼ばれています。

抗血栓薬は血栓の予防や治療に有用な薬です。

**自己判断での休薬はせず、主治医の指示通りに継続して服用することが大切です。**



## 抗血栓薬と 歯科治療

以前は抗血栓薬を中止して歯科治療(抜歯等)を行うのが一般的でしたが、薬を中止した際に脳梗塞や心筋梗塞を発症するリスクが高いことがわかりました。

そのため、現在では抗血栓薬の服用を継続した状態で歯科治療(抜歯等)を行うことが一般的です。\*1

※1(抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン  
2020年版)



## 抗血栓薬の服用と 口腔との関連について

40歳を過ぎると5割以上の方が歯周病と言われています。\*2

歯周病になると歯ぐきが赤く腫れ、重度になると歯みがきなどの軽い刺激でも歯ぐきから出血しやすくなります。

抗血栓薬を服用中の方は、薬の作用により歯ぐきからの出血が続くこともあります。

**かかりつけ歯科医への定期的な歯科受診と毎日の正しい口腔ケアで歯周病予防に努めましょう。**

※2(令和4年歯科疾患実態調査)

